

横浜市福祉サービス第三者評価 評価結果総括表（保育分野）

○評価組織

事業所	社会福祉法人 ももの会 丘の上保育園 神奈川県横浜市戸塚区汲沢1丁目27-6
報告書作成日	平成29年 2月 4日
評価機関	公益社団法人 けいしん神奈川

○評価方法

自己評価方法 平成29年9月20日～平成29年12月5日	領域ごとに職員が原案をまとめ、その結果を全員で討議・まとめを行い、園長が全体を集約した。
評価調査員による評価方法 平成29年12月11日～平成30年2月04日	評価調査員3名が現場視察と書類確認、面談でヒアリング調査（園長、主任、各保育士）を行い、利用者アンケートも参考に評価した。
利用者家族アンケート調査方法 平成29年10月21日～11月6日	全利用者（園児）の保護者に 保育園から手渡し、評価機関が準備したアンケート回収箱（各教室、玄関に1個）を準備し、保護者から直接投函、評価機関が直接回収する方法をとった。 対象家族31世帯、回収数26 回収率83.9%
利用者本人調査方法 平成29年12月11日、12日	<ul style="list-style-type: none"> ・観察調査は園内で実施した ・聞き取り調査は幼児を中心に、食事中、保育中を中心に実施した（1歳児から5歳児まで）

評価結果

評価領域Ⅰ 利用者（子ども本人）の尊重

評価分類・評価項目	評価結果	評価の理由（コメント）
I-1 保育方針の共通理解と保育計画の作成	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育の理念や基本方針は社会福祉法人ももの会設立の目的である「利用者の意向を尊重した多様な福祉サービスを提供することにより、利用者が個人の尊重を保持しつつ、心身ともに健やかに育成されるよう支援する」ことを踏まえて策定されています。「食を通じた知育・徳育・体育」を保育の理念とし、安全・安心な食材にこだわっているのが園の特徴です。 基本方針は法人設立の目的をもとに策定され、玄関正面ホールや各クラスの見やすいところに掲示されています。基本方針は連絡ノート等へも記載されており保護者や職員が理解できるようにしています。 オリエンテーションや全体職員会議で理念や基本方針について全職員が学べる場を設けています。 園だよりに理念等を載せ掲示、保護者に配布しています。保育理念、保育目標、園目標は小さなステッカーにし非常勤含め全職員に配布しておりいつでも見ることができるようになっています。職員会議で理解度をチェックし、毎年度末には見直し次期の方針につなげています。園目標をもとに年間行動計画をたて保育を行っています。 ・ 保育課程は社会福祉法人ももの会全体の主担任会議で作成し、各園の地域の特性を考慮して作成します。領域別保育課程については特に詳細を記述しきめ細かく対応しています。年度末の職員会議で見直しています。保育課程の内容は、子どもの権利に反しないよう、子どもの最善の利益を考慮し、主担任会議、学年会、全体職員会議等で内容を話し合い周知しています。保護者にアンケートをとり次年度の課題に取り入れて計画を立てています。 入園時に当園のご案内の冊子を配り保育課程の内容を説明しています。年度初めの懇談会で「保育と持ち物」のご案内を渡し保護者に説明をし、保護者からの要望があれば次年度に反映するように努めています。 ・ 年間指導計画や月間指導計画、週案、個別指導計画は子どもが自主的に活動できるような内容を取り入れて作成します。乳児においては十分なスキンシップを心がけ、子どもの様子や仕草をよく観察し、意思をくみとり指導計画を作成しています。また幼児においては、食育活動や年間行事の場を通して子どもたちの意見や意思を柔軟に汲み取り指導計画を作成しています。1歳児については「トイレトレーニング記録票」をおむつはずしに活用しています。

<p>I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入園説明会では親子面接を行い担任予定者が子どもの遊んでいる様子などを観察したことをアンケートや入園時面談記録票と児童表に記入し家庭での様子を確認、把握しています。観察結果は職員の打合せや乳児会、幼児会で共通認識を持っています。必要に応じて適宜保護者と話しをしています。 栄養士や調理員はならし保育中に子どもの食事の様子を観察し、個々にあった給食が提供できるようにしています。子どものアレルギーの有無を記録し、確認したことを給食開始前に園長と栄養士と保育士が保護者と面談を行い面談時の記録はアレルギー調査票に記入しています。家庭での食事の様子を児童表Bに記録し、いつでも確認できるようにしています。日々の子どもの様子を観察記録し、面談や送迎時、連絡ノート等で保護者と子どもの発達や変化の様子を共有しています。 ・入園説明会では4月から必要な持ち物の説明、園の方針、ならし保育について説明し、保護者からの質問や要望について説明や話し合いを行っています。ならし保育中は担当保育士が付き、保護者の不安に配慮し助言、相談を受けています。家庭で慣れ親しんだタオルや寝具などの持ち込みを許可しています。子どもの様子を、保育日誌・ならし保育表に記入し、家庭との連携を図れるように園での様子を連絡ノートで行っています。在園児への紹介の場として、春の日の会を行い、在園児の子どもが新入子どもにメダルを渡す等、新入子どもを園全体で受け入れられるように考慮しています。 ・年間カリキュラムに沿って毎月、月間指導計画を保護者や他クラスの保育士の意見も取り入れ評価、見直しています。連絡ノートや口頭での保護者の意見・意向・感想を園だよりへ記載し、年間カリキュラム・月案に反映しています。指導計画の評価・改訂については各クラスの担任とともに主任保育士や他の保育士が助言を行っています。また定期的に系列園の職員と学年会を行い助言を得る等幅広い視点から検討しています。
----------------------------------	----------	---

<p>I-3 快適な施設環境の確保</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・掃除確認表により共有場所やクラスを常に清掃、整理整頓をしています。玄関に季節の植物を飾って子どもが季節の移り変わり感じ取れるようにしています。1歳児の玩具は毎日消毒液で拭いて清潔にしています。安全点検表を活用し毎月の安全点検を行い、不衛生な場所、危険な場所がないかを確認しています。 温度、湿度計を付け一定の温度（冷房時外気温との差5度以内。室温28度程度。暖房が室温18度から20度）、及び湿度（55%から65%）を保てるようにしています。湿度の高いときはエアコンで除湿し、乾燥の強いときは濡れタオルを室内にかざし湿度を保っています。夏の強い日差しの場合は遮光ネットなどで日よけしています。 子どもの目線に立ち言葉を投げないよう、子どもにやさしく語り掛けるような声で言葉がけを行っています。「声の大きさの表」を職員たちが学び、声が騒音にならないように心がけています。各保育室にテラスが設置されており、子どもが屋外で遊べるよう配慮しています。
-----------------------	----------	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・汗をかいた日はシャワーで汗を流し清潔にしています。シャワー室は毎日清掃し掃除確認表でチェックしています。おむつかぶれがあるときは殺菌作用の効果を狙って、お茶で洗い流し清潔にしています。各保育室にシャワー室を設置し、乳児・幼児ともに皮膚の清潔を保てるようにしています。 ・各年齢に合った保育室を用意し、集中して遊べるよう玩具を用意しています。年齢や子どもの様子を見て落ち着いて活動できるようグループ分けを行っています。午睡の部屋と保育室の部屋を分け、食事する場所と午睡の場を区別しています。幼児クラスは清潔なテーブルクロスをかけ、花や植物を飾り楽しい会話や雰囲気の中で食事ができるよう心がけています。各年齢に合った献立表をボードや検食台に貼り園児や保護者に伝えています。食器の正しい並べ方の掲示・食品群ごとに分けたひらがな献立の掲示・毎月の食育目標を掲示しています。行事や誕生日会などすべてのクラスが集まって、皆で楽しむようにしています。ホールや保育室などで早朝・延長保育の時など異年齢の交流を行いながら一緒に遊べる場所を設けています。土曜日保育は、人数も少ないことから各年齢合同の異年齢保育を行っています。
--	---

<p>I-4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力</p>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳児クラスについては、クラス担任が個別指導計画を作成している。幼児クラスにおいても、特別な配慮を必要とする子どもに対しては担当職員が個別指導計画・個別日誌を作成しており、それをもとにケース会議を行っています。全ての子どもの保護者と個別に発達や姿の面談を行い、保育と子育てを共有しています。送り出し時や個人面談の際に保護者に1日の様子などを説明し保育を共有しています。お話の会やお歌の会を保育研修会として行い、職員が互いに保育を研究する機会を設けています。子ども一人一人の栄養計算数値を確認し栄養目標を設定しています。乳児会・幼児会や職員会議を行い、個別指導計画を職員間で話し合い作成しています。職員は日々変化する子どもの発達をよく観察し、園長や主任と相談しながら目標・計画を柔軟に変更・見直しをおこなっています。こうした変更・見直しは毎日の打合せを活用して行っています。 ・個人別ファイルに児童表等を保管し、入園時から卒園まで経年的に記録を行っています。個人の様子を経過記録に記録しています。上記の書類を必要に応じて周知出来るようにしています。次年度への申し送り事項は決められた児童票Cに記入し個人ファイルにはさみ記録し伝達しています。小学校進学時には保育要録を作成し、それをもとに小学校の接続担当職員と面談を行い、スムーズに小学校への接続が図れるように配慮しています。
--------------------------------	--

<p>I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取組み</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児会の中で個別ケース会議を開き、指定された用紙に記入し、周知しています。姉妹園の同じ学年の担任が集まり情報交換を行い会議録に記入をし、全職員が見て周知出来るようになっていきます。 障害、発達障害の研修に職員が参加し、受講した職員が研修成果をフィードバックしています。フィードバック後は研修報告書としてファイルし、回覧出来るようにしています。また個人別の活動については個別日誌等のファイルで記録がなされており、必要に応じて振り返り、情報の共有等が行っています。 ・ 玄関に手すりのついたスロープを設置、段差をなくしバリアフリーの構造になっています。また障害児、職員等誰が利用しやすいように多目的なユニバーサルトイレを設置しています。 保護者の了解を得て横浜市戸塚地域療育センター等の関係機関から巡回訪問を受け、子どもの様子を観察してもらい対応の仕方等の助言を得ています。医療機関や専門機関との連携体制も確立しています。 また嘱託医とはちょっとしたことでも相談を行い、きめ細かく対応しています。定期健康診断時に保護者は気になることを嘱託医に相談し助言を得ています。 配慮が必要な子ども一人ひとりに合わせて、個別指導計画を立て、発達に応じて見直し確認しています。研修に行った職員からの研修報告をまとめたものを閲覧できるようにし共に学びあっています。 歴年齢にとらわれず発達年齢に合った学年で統合保育を行っているのが園の特徴です。障害のない子どもは障害児と関わることで、自然と手助けする心が育まれています。 ・ 虐待対応マニュアルがあり全職員に周知している。打ち合わせ・職員会議・職員研修等で虐待の定義等、虐待について職員間で話し合える機会の場を持っています。虐待の研修に参加した職員からの研修報告書等で他の職員へフィードバックを行っています。 虐待が疑われた場合、区の関係機関に相談し速やかに対応しています。 虐待が疑われ、関係機関にも相談済みの時には、その後の変化についても連絡を取りながら家庭を援助しています。過去に虐待のあった家庭に対しては、児童相談所と連絡を密にとり必要に応じて面談を行っています。 配慮が必要な家庭に対し担当で関わる職員を決め、送迎時に声掛けを行い必要な助言・支援を行っています。配慮が必要な家庭に対し少しでも変化がみられるときには、時間を設け傾聴できるように配慮しています。 ・ アレルギーのある子どもには、アレルギー診断書を医師に書いてもらった上で、アレルギー調査書に基づき保護者と栄養面談を行い除去食の内容の確認を行っています。園内研修でアレルギーの研修を行っています。職員には外部のアレルギー研修に参加推進を行い、入職後一度はアレルギーについての研修に参加するようにしています。また、参加できなかった職員へは研修報告書等で情報の共有を図っています。 除去食、代替食の前には必ず面談を行い保護者、園長、担任、栄養士できちんと話し合いを行ってから提供しています。代替食を提供する際、栄養が偏らるように、夕
---------------------------------	----------	--

	<p>ンパク質ならタンパク質で食品を補うようにし、色合いにも気をつけています。</p> <p>子ども自身が食べて「おいしい」「楽しい」と思えるような代替食を事前につくり、味・食感など確かめてから給食を出しています。</p> <p>アレルギー患者のある子どもが誤飲、誤食しないように、調理器具を分け食器も分かりやすいように除去食ごとに色分けして名前を記入しています。</p> <p>除去食はアレルギー調査書・給食日誌・面談資料等で確認した事項をメモに記入し必ず個々のトレーにのせて提供しています。アレルギーのある子どものアレルギー物質が分かるように給食室、配膳台、ワゴンに表示し全職員に周知しています。調理中にアレルギー物質が混入しないように確認をしながら調理を行い、担任も認識できるよう紙に除去食と代替食を書き説明しています。</p> <p>除去食も必ず担任が検食してから子どもに提供しています。代替え食は誤食のないように見た目の違うものにしていきます。食物アレルギー児の保護者と栄養士・担任・園長とで毎月除去面談を行い、献立の確認、症状の状態の確認を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異なった文化の共存を認める立場で保育を行っています。子どもたちの異文化に対する意識を高めた保育を行っています。食文化の違いから給食に慣れるまではおかわを提供しきめ細かく対応しています。玩具や絵本にも配慮し、黒人、白人、アジア人がのっている絵本を保育に取り入れ遊んでいます。 ・モンテッソーリのお仕事の“文化”で世界各地の写真、地球儀、国旗の紹介などを通し、他国の文化や様子を紹介しています。世界地図、日本地図を保育室に掲示し、大陸パズルや地図パズルを使い他国の紹介をしています。
--	---

<p>I-6 苦情解決体制</p>	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苦情処理については、入園説明会で苦情処理の仕組みを説明し、配布資料である「ごあんない」（重要事項説明書）にも記載し、玄関には第三者委員、苦情受け付け担当者を掲示しています。併せて玄関に意見箱も置いています。また園だより等で保護者の意見を掲載しています。年度初めに個人情報についてのアンケート、年度末には利用者アンケート等必要に応じてアンケート調査を実施しています。また苦情対応マニュアルを作成し全職員に周知しています。日々の連絡ノート等を活用し、口頭では伝えきれないこともノートに記入し連絡を取り合っています。 ・保護者、園長、主任保育士、第三者委員で話し合う場を持てるようにしています。苦情などは昼の打ち合わせで周知し各クラスに伝えていきます。意見箱が設置されています。姉妹園と問題を話し合い共有しています。 ・保護者意見書のファイルには表に意見内容、裏面に対応策が記載されていますが対応策に対する保護者からの感想や満足度が記載されていません。保護者が納得しているかどうか不明です。利用者アンケートでは要望事項への対応が活かされていないという声が多く寄せられています。保護者へのフォロー等改善の余地があります。
-------------------	--

評価領域Ⅱ サービスの実施内容

<p>Ⅱ-1 保育内容 評価領域Ⅱ サービスの実施内容</p>	<p style="text-align: center;">A</p> <p>【遊び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが主体的に活動できる環境構成にして、成長に合った玩具、教具、教材を用意し、自由に取り出せるようしています。子どもの敏感期に対応し教具教材を定期的に入れ替え、年齢や発達段階に応じて積み木やごっこ遊びなどのおもちゃ、各種絵本等の教具を揃え、パーテーションを用いて一人ひとりが落ち着いて遊べるよう環境を整えています。個別活動では、園児が一人ひとりの席が用意されていて、集中して取り込めるようにしています。園庭遊びでは、個々の興味に応じて遊具等を選んで遊べるように配慮してあります。園庭には吊り橋・上り棒・縄跳び・ストライダー・砂場等の設備を揃え、興味に応じて遊具等を選んで遊べるように配慮しています。 ・遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しています。絵本や玩具、自由画など子どもの自由な発想を養い、子どもの好きな歌を生活発表会で発表し、歌詞に合わせた制作をするなど造形遊びや表現活動へと広げることを通して子どもたちの想像が膨らむようにしています。「子どもの自由を保障し、自発的な活動を助ける役割を果たすこと」を目指すモンテッソーリ教育を取り入れ、個々に合った活動を行えるようにしています。 ・動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験を大切にしています。キンカン、サクラソバを園庭で育て、トマト、ナス、オクラ、キュウリ、サツマイモなど野菜の栽培、収穫を行い食育活動や造形遊びにつなげています。コメ作りは田植えの体験から行い、脱穀してお握りを作って食べています。戸外活動で近隣地域の人々と保育士が挨拶や会話を交わす姿を見せることで、子どもたちも自然に挨拶など行えるようになっていきます。同時に近隣地域の動植物等を見せていただき、花や木々・虫等の自然に触れる体験をしています。また地域の方に行事の招待状を届けることも行っています。 ・子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通し自由に表現できるようにしています。幼児クラスではダンボール、ティッシュペーパーの芯、広告の紙や筆記用具などをたくさん用意し、子どもが自由に絵を書いたり使用できるよう環境を設けています。積み木、レゴブロックやパズルなど好きなもので集中して遊べるようにしています。モンテッソーリのお仕事で言語の様々な教具、教材を用意し、好きなだけ表現できるようにしています（ひらがなスタンプ、黒板、うつし文字、移動五十音など）。月に一度お歌の会で歌やリズムに触れ、お話の会ではペープサートや劇で物語の世界を感じられるようにしています。リズム体操を通して、身体を動かす身体表現を楽しんでいます。 ・幼児クラスでのケンカは見守りながら子どもたちで解決できるように言葉かけや働き掛けを行い、言葉で伝えることが上手く言えない乳児クラスに対しては、保育者が代弁するなどして伝え方を教えています。3・4・5歳児クラスは縦割りクラスにして、異年齢の関わりが育つように工夫しており、お歌の会、お話の会、お誕生日会など行事の中で異年齢の関わりを寝かしつけや着替えの介助などで持てるようにしています。障害児保育で小さい子、弱い子のいたわりの保育や思いやりの心を育て、大きい学年児へ
-------------------------------------	--

の憧れや意欲を育てています。子どもと保育士が信頼関係を気付けるよう、暖かな視線や態度で行うよう心がけ、偏見や決めつけで判断せず、園児一人ひとりとの関わり合いを大切にしています。

・健康増進の工夫を遊びにいれています。1歳児から5歳児まで戸外遊びを積極的に取り入れた保育を行っています。手は第二の脳、足は第二の心臓と捉え、手足を使った野外遊びを積極的に取り入れています。園庭では滑り台・のぼり棒・ロッククライミング・綱渡りなど遊具を充実させています。天気の良い日には散歩に行き、長い距離も歩けるようにしています。天気の悪い日は室内でリズム体操、トランポリンや巧技台を活用し身体を動かせるように工夫しています。雨の日はこうぎ台を使っての昇降運動や曲に合わせた体操を行っています。幼児クラスは午前・午後と十分に園庭で遊び、遠足を年に2~3回行い、年度末にはバス・電車を使って遠足に行っています。園内ではマットなどを使って体育を取り入れ、健康的な身体作りを行っています。熱が高めの場合や体調が悪い場合などは、活動内容を変更し室内などでゆったり過ごせるようにしています。

[生活]

・食事を豊かに楽しむ工夫をしています。乳児担当以外の保育士は自分で食べることを大切に、集団で食事することで、おいしく食する子と一緒にすることで偏食しないよう、無理のない励ましの声をかけて食べる意欲を育てています。食事を始めるときは保護者・栄養士・担当保育士・園長と個人面談の上始め、食事は栄養士の手作りでのものを提供し、食材の安全・安心のある国産食材を中心に和食中心の給食を実施しています。子ども自らが食べる意欲が持てるように野菜の栽培活動・調理活動を行い、食に興味を持てるよう調理過程に携われるように植物・野菜・稲の育成を通して食材に触れたり手伝える工夫をしています。調理室は対面式になっており、食材や調理過程が外から見えるようにガラスの引戸になっており、調理する所を見たり音を聞いたりにおいがするようにして興味がわく環境になっています。食事中はおしゃべりに夢中になって食事が遅くなってしまいそうな子には、状況に応じて適切に声掛けを行っています。子ども自らが意欲をもって食べられるよう、食が細い子にはとりわけ皿を用意して、完食する喜びが得られるようにしています。子どもたち自身で配膳・片付けができるように保育士が丁寧に教えています。

・食事の場、食材、食器等に配慮しています。旬のある献立を心掛け、楽しく食べられるよう食事の内容、色どり（赤・緑・黄色）、盛り付けを考慮して食欲が増すように工夫しています。季節の食材が献立に入っているときは本物を見て触れられるようにしています。清潔な環境気持ち良く食べられるよう、テーブルクロスをしたり、幼児は自分で生けた花を飾っています。食事中は楽しい会話を心がけ良い雰囲気の中で食事ができる様子を心がけています。また正月、月見団子、赤飯、七草など行事食等も取り入れて日本の食文化を伝えるようにしています。食器は陶器の物を使用し、主食、汁物、主菜、副菜をそれぞれ盛り付けるようにしています。安全な食材を使用出来るようにできるだけ生産者が分かる食材を使用しており、給食日誌・給食日よりでも説明しています。乳児では発達に合わせ両手持ちの容器や、スプーンの大きさ、素材をあわせています。子ども一人一人の発達を見ながらスプーン、箸などの食具を変えています。

	<p>・子どもの喫食状況を把握して、献立の作成・調理の工夫に活かしています。子どもの好き嫌いを把握し、苦手な食物は小さくして食べやすいように工夫しています。栄養士や調理師は子どもたちの食事状況を観察したり、今日の給食について保育士と情報交換をして子どもたちが食べやすいように工夫しています。特に5歳児は給食前に栄養士が食物についての説明を行っています。毎日検食を行い、検食者と残食を調査し、次回の調理の仕方、味付け、盛り付けの検討し、給食会議で毎日の検食結果の状況や感想、反省を行っています。</p> <p>・子どもの食生活について、家庭と連携しています。毎月、園だよりで献立表の掲示、箸の持ち方・器の持ち方等食育の話を掲載して保護者に伝えています。給食だよりで旬の食材、食育活動の様子や献立作成時に考慮した事柄を伝えています。給食だよりにもレシピを掲載して伝えています。保護者と地域の人を対象に、食のセミナーを開催して講話や給食の試食会を行っています。登降園時等に、食に対して悩みのある保護者から食が細い、好き嫌いが多い等の相談を受け、個々の対応を行っています。</p> <p>・午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しています。午睡の習慣づいてない子や眠れない子には、体を休める時間だということを伝え、静かに過ごさせたり、安心して入眠できるように身体をさすったりパーテーションを使っています。入眠時はカーテンを閉めて保育士が子守唄であやしたり、オルゴールの音楽をかけて落ち着いた雰囲気を作っています。乳児はSIDSの対策として3分事に呼吸を確認しチェック表に記入するとともに、寝返りの出来ない月齢の乳児は仰向けに寝かせています。5歳児は11月から小学校に向けてお昼寝をしない日を週1日から設けて就学前にはお昼寝をしなくてもよいように配慮しています。</p> <p>・排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しています。担当保育士が一人一人の排泄のリズムを把握しておむつ交換表を作成し、1時間ごとに子どもの排泄状況を排泄チェック表で管理しています。トイレトレーニングは家庭で出来る状況であるか確認し、トレーニングを開始する前に保護者と連絡を取りながら進め、トイレトレーニング中は排泄時間をノートに記入しその日の様子を保護者に口頭で伝えています。また面談では職員が順番で同席し、全職員がトイレトレーニング時の子どもの心を認識し、指導できるようにしています。園での排泄状況は連絡ノートで様子を記入して保護者に伝えています。パンツに排せつした時はやさしく対応し処理しつつ、幼児ではお漏らしをした子の着替えをできるだけ他児の目に触れないところで着替えられるように配慮しています。</p>
--	--

<p>Ⅱ-2 健康管理・衛生管理・安全管理</p>	<p>A</p> <p>【健康管理】</p> <p>・子どもの健康管理は、適切に実施しています。保育士は病気対応マニュアルでチェックし園児一人一人の健康状態を把握できるようにしています。入園時は同意を得て母子手帳の提示を頂いて既往歴や予防接種等を把握しています。園児の健康状態を管理する個人別健康台帳には、かかりつけ医や既往症等を保護者に記入してもらい職員が</p>
---------------------------	---

確認できるようにしています。園医や子ども一人一人のかかりつけの医師とアレルギーのある子の対策や緊急連絡先を記入したものを備えています。園での体調が普段と少しでも異なるようであれば引き渡し時に様子を伝えてるとともに、朝受取りの際、保護者から家庭での様子を聞き、園での対応を行っています。園で年2回園医が行う定期健康診断、歯科健診などの結果を保護者にも伝え、情報を共有しています。

・健康診断・歯科検診の結果を保育に反映させています。健康診断、歯科検診の結果をもとに保健、衛生指導を行い、一人ひとりの健康台帳に結果を記入しています。内科健診の時に子どもの気になる点がある場合相談した内容や、歯科検診結果を口頭や書面で保護者に伝えています。園医から子ども一人一人の健診結果や最近の動向について相談を受けています。身体測定は幼児クラスは隔月行い出席シート帳に記入し、乳児クラスは毎月行い個人ノートに記入し、保護者や園児と共有しています。園では歯ブラシ指導と口腔検査を年1~2回行い、保護者に歯磨きの大切さを伝え、食事の後に保育士が仕上げ歯磨きを行っています。口腔検査の結果は「口腔清掃状態の結果用紙」に書き保護者に渡し口腔衛生意識を高めたりしています。感染症発症時も園医に対策指示を依頼しています。

・感染症に対しては感染症対応マニュアルを作成し、全職員が把握できるようにしています。保育園のしおりには乳幼児のかかりやすい感染症の情報を載せてあり、登園停止基準や感染症対策等を記載しています。インフルエンザが発症した際は登園時に検温・健康観察を行ってから受け取りをし、降園時も検温・健康観察を行っています。保育中に感染症への感染が疑われた場合には保護者に連絡を行うとともに、感染症が出た時は乳児クラスにうつらないように隔離保育を行っています。保育中に発症しすぐにお迎えに来られないときは保健室で体調の変化を記録して隔離保育を行っています。

・緊急連絡先を常に備え発症時に速やかに連絡できる体制をとっています。また、毎年区の園医会が開催する研修に参加し最新の情報交換を行い、研修に参加できなかった者は研修報告書を読んで把握したり、主任任会議、職員会議で最新の情報を共有しています。園内の感染症の情報は玄関や各クラスに掲示し、保護者に周知するとともに園だよりで情報を提供しています。

【衛生管理】

・衛生管理、感染症、ノロウイルス等のマニュアルを整備しており、年度の節目に、職員参加で見直しを行っています。

・マニュアルは年1回定期的に園内研修を行い、内容を共有し実施しています。職員に加え、用務員、環境整備員も含めて全員で実践しています。

・掃除は清掃マニュアルがあり、これに基づき清掃を行っています。保育室、トイレなどには掃除チェック表を設けて清掃漏れがないようにし、嘔吐や排泄処理が必要な場合に備え、汚物処理の手袋、紙袋等の用具を常備しています。保育室には消毒液を準備し、入室する前に必ず手洗い、うがいをしてから入室しています。そのほか、保健所の指導によるノロウイルスなどのセットを用意しています。オムツ替えの時はオムツ替え用のエプロン、手袋をしてからオムツ替えを行い、常に清掃を行い清潔を意識しています。

		<p>【安全管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施安全管理に関するマニュアルとして、事故防止対策・事故発生時対応、火災発生時対応、地震発生時対応、風水害対策などの手順を準備しています。春と夏に研修を行い、全職員が内容を共有し、さらに訓練を実施しています。地震時の対策として、備品等の転倒防止策の対応、毎月実施する園内の安全点検、毎月実施する事故、子どもの引き渡し訓練、災害を想定した避難訓練・消火訓練等を行っています。緊急連絡体制を事務所内に掲示しています。セコムとの緊急連絡体制を設置しており、通報や連絡の訓練を実施しています。また職員は地域で行われている災害の研修や、その他の災害に関する研修にも参加しています。職員は園内研修で AED 設置時に全員に救命救急の研修を実施し、園長や複数の職員は救急救命法を身につけています。 ・事故や怪我の発生時及び事後の対応体制があります。事故防止対策・事故発生時対応マニュアルを基本に、事故や病気の時、必ず保護者と園が連絡が取れる体制をとっています。子どもが怪我をしたときは保護者に程度にかかわらず連絡ノート等で連絡し、経緯、状況を伝え、対応を相談しています。保育士同士子どものけがなどがあつた際、職員会議で原因究明を行い、気をつける点を反省し確認しています。またヒアリハット・インシデントアクシデント・保健室利用記録・日誌等を活用し、小さな怪我でも報告し合い事例等からも学んでいます。 ・外部からの侵入に対する対応策が整備職員は外出する際は保育室の窓を閉めてから出かけるようにし、登園、降園の時間以外は園の出入り口は施錠をかけています。不審者等が侵入した場合に緊急連絡網とセコムとの緊急連絡装置を活用して対応できるようにしています。また、緊急時はパトロールカーに直接通報出来る体制が整っています。防犯訓練などで全職員が対応を身につけるよう訓練しています。区役所から情報が入る態勢を整えており、近隣からも不審者情報が FAX 等で知らされるようにしています。
--	--	--

<p>Ⅱ-3 人権の尊重</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの人格尊重を意識しています。子どもにも人権があり、一人の人間として尊ばれるように子どもの権利を第一義的に考え保育をおこなっています。保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの自尊心を認め気持ちを受け止めるよう心がけ、学年会、乳児会、幼児会や打ち合わせでは発達に応じた言葉掛けをするようきちんと対応し、命令口調、否定口調ではなく「～しましょう」という言い方をしています。子どもの目線に立ちわかりやすくゆっくり話しています。子どもの気持ちに寄り添って話を聞き理解しやすい言葉や話し方で子どもの気持ちを受け入れ指導しています。子どもの名前は「～さん」「～ちゃん」「～くん」をつけ呼び捨てにしないようにしています。声の大きさの表を貼って大きな声を出さないよう保育士も子どもも意識付けを行っています。 ・プライバシーが守れる空間を確保しています。必要に応じてついでが移動でき、場合によっては一人になることができるようにしています。一時保育室、パーテーションを利用し、必要に応じて、個別に対応することが必要とされる場合は、集団から離れて 1 対 1 で落ち着いた話が出来る
------------------	----------	---

	<p>るように配慮しています。一人の子どもの服が汚れた時の着替えをみんなの前で行わないよう配慮して、外部からの視線にも注意しています。お散歩リュックに風呂敷などの大きい布を入れておき、着替えの時隠せるようにしています。おねしょをした時は他の園児に知られないように着替えや布団を干す等の配慮をしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の取り扱いや守秘義務について、職員等に周知しています。全職員が参加する職員会議で周知し、写真1枚でも個人情報を外部に漏らしてしまうことで、配慮が必要な家庭にとっては不安や恐怖を感じる要因になりうること、取り返しのつかない事態を引き起こしてしまう可能性もあることを伝えています。利用家庭の個人情報(写真を含む)を勝手にSNS等に載せることは、保育に関わるものがしてはならないことだと周知させています。ボランティア、実習生マニュアルにも守秘義務について明記されオリエンテーションで伝えています。職員会議などで常に園外に持ち出す物の中に個人情報に関する物はないか話し合いを行っています。個人情報の取り扱いについて保護者にはクラス懇談会やアンケートを通して説明し了解を得ています。児童票など個人情報のあるものは施錠出来る棚に保管されています。 ・性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しています。遊びによる設定も男女で分けないようにしています。持ち物、服装も性差による色分け等を行わず、個人の気持ちを尊重しています。園で揃える個人購入物は色分けせず、皆同色のものを揃えています。また言葉によつての性差を言わない、色によつて男女を決めない、服装や髪型のほめ方に配慮、教材、玩具など各色を揃え選べる工夫、順番、グループは男の子、女の子での分け方はしないようにしています。子どもや、保護者に対してお父さん・お母さんの役割を決めつける様な表現はしないようにしています。
--	--

<p>Ⅱ-4 保護者との交流・連携</p>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者が保育の基本方針を理解できるよう努力しています。入園説明会や入園式で基本方針を保護者に伝えていきます。入園のしおりや施設見学で配布するパンフレットには保育方針等の園の方針を記載しています。クラス懇談会や個人懇談会で基本方針、目標を説明し振り返りも行っています。園目標は保護者の目の止まりやすい所に掲示しています。保護者の意見を聞くために意見箱を設置しています。年に一回は園独自のアンケートを行いどの程度の理解がなされているかを把握しています。ホームページに基本方針、目標を載せています。園だより・クラスだより・懇談会・連絡ノートなどに園の目標や基本方針などを載せています。 ・個別面談は行っていますが内容を充実させることが望ま
-----------------------	---

れます。朝の受け取り時に家での様子を聴き、降園時の送り出し時に個人ノートを渡すとともに、園での一日の様子を伝えています。毎日保護者と一日の出来事、家庭での様子を伝えあっています。(乳児は個人ノート・幼児はみんなのノート) 個人連絡ノートを作り保護者と情報交換を行っています。定期的に懇談会を行っています。(進級時や行事前には懇談会を行い園での様子を伝えています)年間行事予定表を4月に配布しています。写真の掲示等をして保育の状況をわかりやすく知らせています。

・お話し室を設置し気軽に相談出来き、また相談内容等を聴かれないで面談出来るように工夫しています。わからないことがあれば、園長や主任に相談できるよう機会を作っています。内容については職員間でも話し合わせ、適切な助言が出来るように配慮しています。相談時には、職員は複数名で対応し、一人は記録に専念できるようにして、記録を取り、断続的なフォローが行えるように配慮しています。

※面談で行った保護者の意見をまとめています。内容は子どもに関する内容がほとんどですが、駐車場の件、運動会が開かれない件、お知らせのプリントが配布されない件など保護者の不満はアンケート等に多く見られ、解決に向けての相談が必要と思われる。

・園だより、クラスだよりを定期的に発行しています。3, 4, 5歳児はみんなのノートでその日のクラス、子どもの様子を知らせています。保育参観、懇談会を行いこどもたちの成長の様子を伝え、保育の内容・目的を説明する機会を設けています。日々の保育の様子を写真にとり保護者に渡しています。遠足等に出かける等のイベント時にはその様子を写真等でまとめた掲示を行っています。

・年間行事予定表の配布をしています。年度の初めに配布することで、小学生の兄弟児がいる家庭等で、行事が近隣の小学校行事と重なったりしている場合は、日時の変更等できる範囲で柔軟に対応しています。幼児クラスの家庭には保護者が「お母さん先生・お父さん先生」として保育に参加する、保育参加への呼びかけを行っています。保育参加に参加された保護者の声や当日の子どもの様子を園だよりに載せています。懇談会が行われた際は内容を伝え配布物等も確実に配布するようにしています。(お知らせを掲示、園だより、行事予定を配布)

・定期的に懇談会を行い、保育園での様子、家庭での様子を伝えあえる機会を作っています。行事ごとに保護者からの感想を頂いて意見を汲み取っています。保護者から要請があった時は場所を提供しています。要望があった際には職員間で担当を決め参加しています。

※一方保護者から意見を聞いたり、行事ごとに保護者からの感想を頂いて意見交換をしていますが、解決に至らない件も多くあり、コミュニケーションに工夫の余地がありません。

評価領域Ⅲ 地域支援機能

<p>Ⅲ-1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の子育てニーズの把握に取組みについては地域住民との交流として、町内会長との連絡を図っており、園内開放や施設見学時に、地域住民に対する育児相談に応じています。また、関係機関との連携取組みとして、療育センター等での研修やオープンデーに参加しています。 ・地域の子育てニーズに応じて施設の専門性を活かしたサービスの提供については、地域の子育てニーズに応じて専門性を活かしたサービスを提供しています。地域の子育て支援ニーズの把握取組みとして、職員会議で話し合いを行っています。地域での子育て支援のサービスとして、支援講座の内容について話し合いを行い、園庭開放や交流保育、一時保育を行っているほか、地域住民に向けた子育てや保育に関する講習として、食のセミナーや子育てセミナーなど、地域の方も参加出来る行事を設けています。
-----------------------------------	----------	---

<p>Ⅲ-2 保育園の専門性を活かした相談機能</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民への情報提供としてはホームページと園外の掲示板に地域に向けた情報提供の仕組みはあるものの、現地確認時は園外の掲示板に必要な情報提供は見られませんでした。また、丘の上保育園のホームページにも、地域住民への情報提供の掲載は見当たりません。育児相談の対応については施設見学や園庭開放時に行っています。また、地域への情報発信として町内会長との連絡の場を設けています。 ・相談内容に応じて関係諸機関・団体との連携については、区の園長会や地域の関係機関、団体等をリスト化し、情報を共有化しています。幼保小、町内会などの関係機関の担当者を決めて対応しています。
-----------------------------	----------	---

評価領域Ⅳ 開かれた運営

<p>Ⅳ-1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園に対する理解促進のための取組みとして、子育てセミナーなどを開催し、育児相談や栄養面談を行っています。自治会や町内会の行事に積極的に参加したり、幼保小の研修にも参加し、運動会や行事などに参加しています。また、就学に向けた、小学校見学・幼保小の交流会にも参加しています。地域に対しては、トイレを開放して気軽に利用して頂けるようにしているほか、戸外保育を取り入れコースごとに交流や挨拶なども行っています。近隣のグループホームへの訪問を行ったり、地域の事で不明なことがあれば連合自治会等を通じ、指示を仰いでいます。 ・子どもと地域との日常的な交流により、子どもの生活の充実と地域の理解深耕としては、地域のコミュニティ等の施設を利用したり、遠足で文化センターを利用するほか、戸外保育を取り入れコースごとに交流や挨拶を交わすなどのほか、近隣のディサービスウィル戸塚と交流を図っています。交流保育を行ったり、運動会や行事に招待して頂き、子どもたちと一緒に参加するなど園外の子どもの交流も行っています。また、学童や福祉施設などのイベントのチラシを園内に掲示、配布し、保護者に参加を勧めています。
------------------------------------	----------	--

<p>IV-2 サービス内容等に関する 情報提供</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の利用者が関心のある事項についてわかりやすく情報を提供しているかについては、入園希望者への施設見学を実施し保育内容や年間行事等を伝え、その他質問を受けられる体制をとっています。また、区の入所希望者へのチラシに、保育内容や実費費用等についての情報を掲載するほか、市のホームページに情報を提供しています。 ・利用希望者の問い合わせや見学への対応については、園の案内を配布すると共に各クラスの特徴、発達に応じた保育の説明、職員の紹介、園の目標、食育目標などを説明したり、施設見学日を複数設定して、見学者が見学に来やすい様にできる範囲で対応しています。また、市の配布物や問い合わせ時に施設見学が出来る事を伝え、施設見学者記録（質問記録、個人相談記録）を整備しています。また、緊急を要すると判断した場合には、見学・面談を早期に行うようにしている。保護者とのコミュニケーションを大切にしていることなど口頭や掲示で伝えています。
----------------------------------	----------	---

<p>IV-3 ボランティア・実習の受け入れ</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの受け入れや育成を積極的については、職員の打ち合わせ等で実施状況などを伝え、次の機会に活かしています。ボランティアの受け入れについては、マニュアルを作成し、受け入れ担当を決め、活動中の指導・相談にのり、受け入れ記録を整備していますが、実績として地域のボランティアグループとの連携やボランティアの受け入れは、これまで殆ど取り組まれておらず、今後、有効な連携の関係性構築が期待されます。中学校の職業体験、高校のインターシップについては、僅かながら受け入れ実績はありました。 ・実習生の受け入れを適切に行っているかについては、これまで1名の受け入れ実績の記録があり、実習生の受け入れマニュアルに基づき、受け入れ方針や受け入れ期間、内容等を説明しています。また、受け入れ担当を決め、実習中の指導・相談にのり、受け入れ記録を整備しています。また、実習目的に応じた実習が行えるように、職員打ち合わせ時に職員同士で実習内容について話し合いを行っているほか、実習生の感想や気づきを職員の打ち合わせ等で伝え、次の機会に活かしたり、学校の担当職員との面談を通して実習生が直接伝えられない意見も、担当職員を通して把握できるようにしています。
----------------------------	----------	---

評価領域V 人材育成・援助技術の向上

<p>V-1 職員の人材育成</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みについては、園内研修の課題を細かく設定し、新人の理解、技術向上を図ったり、各機関に求人を行い、運営の理念に則した人材の採用を行い補充しています。また、職員の経験に応じ、外部研修に積極的に参加させたり、年1回「自己評価表」を提出し、達成度を確認し、次の課題につながるよう面接を行っています。しかしながら、現地確認で全保育士の研修受講記録を確認したところ、保育園の人財育成計画が無く、全職員別に計画的に必要な教育を実施出来ているようには見られませんでした。 ・職員・非常勤職員の研修体制が確立しているかについては、毎年法人系列園の職員・非常勤職員が一堂に集まり、園内研修を行ったり、感染症予防など、外部から講師を招き研修を受けられる体制を整えており、園外研修への参加、市の研修や、諸団体の研修に積極的に参加し、職員の希望で行きたい研修があればできる限り要望に合わせられるようにシフトを調整し参加出来るようにしています。また、夏の園内・園外研修については研修報告書を作成し、職員・保護者等が観覧できるようにしているほか、園内研修、園外研修参加記録、研修記録を整備しています。また、研修報告書を元に、主任任会議、学年会で発表し、意見交換を行っています。 ・非常勤職員等への日常の指導については、経験年数を考慮した職員の組み合わせをし、指導担当者、指導の細やかさなどに配慮し、非常勤職員も毎年の園内研修に参加し業務に対してともに資質向上に努めています。また、非常勤の勤務時間と職員の勤務時間を調節して、お互いの業務が向上できるように配慮したり、年度初めに保育士マニュアル及び業務マニュアルを指導資料として使用し、職員に配布しています。具体的にコミュニケーションを図る工夫として、オリエンテーション、研修期間4週間、毎月の職員会議、乳児会、幼児会に参加出来るようにしています。
--------------------	----------	---

<p>V-2 職員の技術の向上</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員のスキルの段階にあわせて計画的に技術の向上に取り組みについては、年度の終わりに職員の自己評価を、園内研修時に保育所の自己評価を行っています。また、他施設への見学や、交流を通し良いところは取り入れ、サービスの向上を目指しているほか、法人内でモンテッソーリの勉強会を行い、保育スキルの向上を目指しています。また、系列園の園長や職員が定期的に来園し、気づきがあれば来園時に助言を受けているほか、姉妹園同士の交流や他園への研修を行い、技術の向上や指導を受けられるようにしています。このほか、私立園長会や市の保育運営課の説明会・学習会・研修会・新聞・情報誌を駆使して運営を行い、方向性を明確にする為に情報の収集・分析を行っています。感染症予防研修など、外部から講師を招き技術向上の研修を受けられる体制を整えています。 ・保育士等が保育や業務の計画及び記録を通してみずからの実績を評価し、改善に努める仕組みについては、毎年行っている自己評価では、1年の目標や振り返り課題等
---------------------	----------	--

		<p>を文章化して記録できるようになっており、自己評価の用紙は、継続して使用し、年度で色分けをして記入することで、経年的に評価ができるようにしています。指導計画案に保育士の自己評価欄を設け、保育のねらいと関連づけて振り返れるようにしているほか、指導計画は、子どもの発達や取り組みに対しても文章で記入し振り返ることが出来るようにしています。また、自己評価の用紙は年度により記入するペンを色分けすることにより、前年より優れた事項、行き届かなかった事項を把握しやすくしています。</p> <p>・保育士の自己評価を踏まえ、保育所としての自己評価については、自己評価の結果から次に取り組むべき課題、改善を要する点を記入し、より良い運営ができるようにし、毎年、園内研修・職員会議等でその年の振り返り、保育所としての自己評価を行っています。また、保育所としての自己評価は、園の理念や方針、保育過程に沿って記入し、年度の終わりに、保護者アンケート結果と共に保育所の自己評価を掲示しています。自己評価は保育所及び保育士の自己評価も行っています。</p>
--	--	--

<p>V-3 職員のモチベーションの維持</p>	<p>B</p>	<p>・本人の適性・経験・能力に応じた役割を与え、やりがいや満足度を高めているかについては、組織図等で、経験・能力に応じた役割配分を示したり、上層からの支持を待つのではなく、個々の判断により判断できるものについては、責任をもち判断・行動しているとの説明ですが、権限移譲については、実績としては不十分と見受けられます。また、職員会議や打ち合わせ時に、業務の改善の必要な事柄について意見を話し合ったり、必要に応じて園長、主任、学年担当職員を交えて業務改善に向けた会議を行うほか、文書でも提出させ把握できるようにしたり、園長や主任等が、職員一人ひとりと話し合える場を多く持ち、職員の満足度・要望等を把握できるようにしています。</p> <p>保育園として職員の職務分掌が明確化されておらず、必要な場合の権限移譲などについても、ルール化されておられません。</p>
--------------------------	----------	--

評価領域VI 経営管理

<p>VI-1 経営における社会的責任</p>	<p>B</p>	<p>・事業者として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているかに関しては、組織および職員が不正・不適切な行為を行わない様、入職時にオリエンテーション等で説明し、就業規則にも記載しています。経営、運営状況等の情報については、園だよりやホームページ等で公開しています。職員が不正・不適切な行為を行わない様、労務士・弁護士が年間2回づつ職員が共通理解出来るよう園内研修を設けるとともに、理解度確認のレポートを作成させています。</p> <p>・しかしながら、園内研修は実施されているものの、他施設での不正や不適切な事案を題材とした研修は実施されておらず、見直しの余地があります。</p> <p>・サービスの質を維持しつつゴミ減量化・リサイクル・省エネルギーの促進、緑化の推進など環境への配慮について</p>
-------------------------	----------	---

	<p>ては、事業用ゴミの収集は、週3回行われるが、宅配の包装紙、梱包用紙、段ボール等はゴミにせずリサイクルし、園児たちが絵を描いたり、作品制作などに再利用することで、ゴミの減量化を図っているほか、地域活動の一環として、資源ゴミ等のリサイクル物の協力も行っていきます。園庭および外周の緑化向上のため、担当職員が季節を考えた植物を植樹し、地域の環境整備に取り組んでいるほか、年度初めに全職員が実際にゴミを分別し学習することにより、環境への考え方、運営に活かしています。</p>
--	--

<p>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園の理念や基本方針等について職員への周知については、事務所や保育室に理念・基本方針の書かれた用紙を掲示したり、年度初めのオリエンテーションや職員会議で確認し、新人研修でしおりを配布し読み上げをしています。また、職員会議の議題用紙等で理解を高めるために明示したり、必要に応じて、打ち合わせ時に確認を行っています。面談時・園内研修時に理念・基本方針について確認を行い、必要に応じて文章の配布、指導を行っています。 ・重要な意思決定にあたり、関係職員・保護者等から情報・意見を集めたり説明については、定期的にクラス懇談会を行い意見交換の場を設けたり、クラス懇談会、個人面談、園だより、アンケートを活用し行っています。個々の送り出しや相談時に意見交換を行うほか、重要な変更事項がある場合には、臨時で職員会議・説明会を開いて説明を行っています。職員会議、主任任会議、乳児会、幼児会、給食会議を通して情報や意見集めを行っていますが、保護者アンケートによれば、説明不足や説明の機会が不十分など、必ずしも保護者と意思疎通が良好とは言えません。 また、異なる部門の職員から編成された運営委員会が法人全体で組織されており、職員会議・給食会議では多職種が共に参加して意見を交換しています。 ・主任クラスの職員がスーパーバイザーとしての役割遂行については、法人の中で主任任会議を行い意見交換など保育の向上に努めているほか、年度初めに職員の指導担当者を決めて、仕事の相談や精神的面のケアを行うシステムを作っており、その指導の総括を主任が行えるようにしています。また、主任の仕事を少しずつクラス主任に委譲し、主任業務の引き継ぎを行い育成に取り組んでいます。また、クラス日誌、園日誌に記入されている業務状況を確認し把握するシステムがあり、各園の合同主任任会議を行って学びあっています。主任は個々の職員がより良好に保育を行えるよう研修、休暇、行事などを園長と相談しながら調整して職員の研修の参加の体制作りや行事のスムーズな進行体制を考えています。
--------------------------------	--

<p>VI-3 効率的な運営</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外部環境の変化等に対応し、理念や基本方針を実現するための取り組みについては、保育園経営コンサルトを通して運営に必要な情報を収集・分析しているほか、日本保育協会等の所長研修会に参加し、他の園と情報交換を行う事で情報の収集を行っています。また、行政の説明会に参加し必要な情報の収集を行い、様々な保育団体に加入し、団体からの情報提供を受けています。法人内の合同の園長会・主任任会議を開催し議論したり、事務局を作り、事務の公理化を図り、収集した情報は法人内園長会・運営委員会・主任任会議等で共有し、議論しています。また、保育園経営コンサルトの助言を受け、園の組織化を進め、運営面での重要な課題改善について、全体職員会議・職員会議等で話し合い周知し協働理解を深めています。 ・保育園運営に関して、中長期的な計画や目標を策定については、園長会・運営委員会・主任任会議で中長期的な展望を話し合い計画しています。また、次世代後継者の候補者初任施設長研修会、初任主任研修会、防火管理者研修への参加計画を作成し、各会議に次世代候補者も定期的に参加させ、後継者の育成を行っています。各種の園長研修会に積極的に参加し、国や横浜市、戸塚区の動向、保育事業の方向性を見極め進むべき方向を明確にし、園長・主任を中心に会議や研究会を行っており、運営に関して外部のコンサルタンに委託し、助言を得たり、福祉会計サービス、労務士の指導や意見も取り入れています。 しかしながら現地確認では、同園の中長期経営計画書なるものは確認できませんでした。
--------------------	----------	--

アンケート回収率： 83.9%

送付数： 31

回答数： 26

保育園に対する総合的な満足度は「満足」、「どちらかといえば満足」を加えると57.7%と半数強となっており、満足度は比較的高くありません。

園の保育目標・保育方針については、88.5%が「よく知っている」、「まあ知っている」と回答しています。知っている保護者の88.4%がその目標に賛同しています。

とくに満足度の高い項目（「満足」が50%以上）保育内容の「遊び」の「クラスの活動や遊び」「子どもが戸外遊びを十分しているか」「遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているか」と「生活」での「給食の献立内容」については、満足とどちらかといえば満足だけで100%など他の項目でも日常の保育は満足度が高く、「お子さんが給食を楽しんでいるか」「お子さんへの体調への気配り」や職員の対応での「あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるか」や「あなたのお子さんが大切にされているか」、「話しやすい雰囲気、態度であるかどうか」についても満足度が特に高いです。

とくに満足度が低い項目（「どちらかといえば不満」と「不満」の合計が20%以上）保育や行事の年間計画の「年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているか」とお子さんが入園する時の状況の「費用やきまりに関する説明について」は「不満」の合計が8割を超えているほか職員の対応の「意見や要望への対応」や園と保護者との連携・交流の「園の行事の開催日や時間帯への配慮」も7割以上が不満と感じています。また保育園の快適さや安全対策の「外部からの不審者を防ぐ対策」も50%以上が不満と回答しています。

■保育園の基本理念や基本方針について

問1 あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存知ですか。	よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答	計
(人)	4	19	1	2	0	0	26
(%)	15.4%	73.1%	3.8%	7.7%	0.0%	0.0%	100.0%

(付問) あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。	賛同できる	まあ賛同できる	どちらともいえない	あまり賛同できない	まったく賛同できない	無回答	計
	9	14	0	0	0	3	26
	34.6%	53.8%	0.0%	0.0%	0.0%	11.5%	100.0%

■保育園のサービス内容について

問2 お子さんが入園する時の状況について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
見学の受け入れ方については	6	9	5	3	3	0	26
	23.1%	34.6%	19.2%	11.5%	11.5%	0.0%	100.0%
その他 ・見学しなかったので分かりません・不明・見学していない							
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	5	11	6	4	0	0	26
	19.2%	42.3%	23.1%	15.4%	0.0%	0.0%	100.0%
その他 ・							
園の目標や方針についての説明については	7	15	2	1	1	0	26
	26.9%	57.7%	7.7%	3.8%	3.8%	0.0%	100.0%
その他 ・された記憶がない(詳しく)							
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については	4	15	5	0	2	0	26
	15.4%	57.7%	19.2%	0.0%	7.7%	0.0%	100.0%
その他 ・あつたか覚えてない・どちらともいえない							

保育園での1日の過ごし方についての説明には	4	16	6	0	0	0	26
	15.4%	61.5%	23.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他							
費用やきまりに関する説明については (入園後に食い違いがなかったかを言めて)	2	3	7	13	1	0	26
	7.7%	11.5%	26.9%	50.0%	3.8%	0.0%	100.0%
その他 ・入園時と今とで状況がかなり違うので何とも評価しづらい、現状では不満・説明はあったけど、内訳がよくわからなかった・駐車場の金額が説明前と異なる上に非常識な金額							

問3 保育や行事の年間計画について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
年間の保育や行事の説明については	3	8	6	9	0	0	26
	11.5%	30.8%	23.1%	34.6%	0.0%	0.0%	100.0%
その他 ・運動会がない満足いく説明がいつもない・参観日がなくどのように過ごしているか不明・年間行事で、運動会や発表会などない。説明はあったがぜひやってほしい							
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	1	2	7	15	1	0	26
	3.8%	7.7%	26.9%	57.7%	3.8%	0.0%	100.0%
その他 ・参観日が欲しい。行事をやりたいなど意見は、モンテッソーリ教育のため？全く活かされない・そもそも尋ねられもしない・要望が(どのような)あったか分からない							

問4 日常の保育内容について

「遊び」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	19	7	0	0	0	0	26
	73.1%	26.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他							
子どもが戸外遊びを十分にしているかについては	22	4	0	0	0	0	26
	84.6%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他							
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	14	10	0	0	2	0	26
	53.8%	38.5%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%	100.0%
その他 ・どんな物があるのか不明・どちらともいえない							
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	14	9	2	1	0	0	26
	53.8%	34.6%	7.7%	3.8%	0.0%	0.0%	100.0%
その他 ・もっと外の公園に連れて行って欲しい・地域の関わりは？もっとしてほしい・公園には行くがその他遠足などが全くなく不満							
遊びを通して友だちや保育者との関わりが十分もてているかについては	15	11	0	0	0	0	26
	57.7%	42.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他							
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	12	12	1	1	0	0	26
	46.2%	46.2%	3.8%	3.8%	0.0%	0.0%	100.0%
その他							

「生活」について	満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	その他	無回答	計
給食の献立内容については	16	10	0	0	0	0	26
	61.5%	38.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他 .						
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	17	7	1	1	0	0	26
	65.4%	26.9%	3.8%	3.8%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他 .						
基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	15	9	0	1	1	0	26
	57.7%	34.6%	0.0%	3.8%	3.8%		100.0%
	その他 ・詳しく伺ったことがないため						
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	17	8	1	0	0	0	26
	65.4%	30.8%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他 ・ならし保育中ねている所をおこされてのおむつがえとなったことがある						
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	11	10	0	0	5	0	26
	42.3%	38.5%	0.0%	0.0%	19.2%	0.0%	100.0%
	その他 ・布オムツが嫌だった ・まだトイレ前 ・個々に合わせてすぐはじめるようにしてほしかった。説明会をうけないとスタートできないはやや不満 ・まだはじまっていない ・もうおむつがとれているので分からない ・オムツははずれている ・すでに終わっています						
お子さんの体調への気配りについては	13	12	1	0	0	0	26
	50.0%	46.2%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他 .						
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	7	7	9	3	0	0	26
	26.9%	26.9%	34.6%	11.5%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他 ・子どもからきく場合もある ・結構知らぬ間に小さな傷、ケガしていて気づかず何も言われず帰ってくる時があった。以前の保育園より雑						

問5 保育園の快適さや安全対策などについて

	満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	その他	無回答	計
施設設備については	11	10	1	4	0	0	26
	42.3%	38.5%	3.8%	15.4%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他 ・くらい ・園に入る時の顔認識がない ・雨の日水たまりがある。駐車場の有料なこと						
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	10	15	0	1	0	0	26
	38.5%	57.7%	0.0%	3.8%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他 .						
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	2	10	7	7	0	0	26
	7.7%	38.5%	26.9%	26.9%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他 ・かんたんに出入り出来る ・パスワードがわかりやすすぎる。毎年かえたり対応してほしい。子どもの手の届くたかさにスイッチがあり危ない ・番号さえ知っていれば、誰でも簡単に入れる(同上) ・暗証番号が簡単すぎるのでは						
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	4	15	2	4	1	0	26
	15.4%	57.7%	7.7%	15.4%	3.8%	0.0%	100.0%
	その他 ・掲示板に貼られるだけ						

問6 園と保護者との連携・交流についてうかがいます。

	満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	その他	無回答	計
保護者懇談会や個別面談 などによる話し合いの機会 については	8	5	9	4	0	0	26
	30.8%	19.2%	34.6%	15.4%	0.0%	0.0%	100.0%
その他 ・少ない、特に保護者会・特別監査関連以外で回答しています・そのような機会があまりない・理事長の説明に 不満							
園だよりや掲示などによ る、園の様子や行事に関 する情報提供については	6	4	9	7	0	0	26
	23.1%	15.4%	34.6%	26.9%	0.0%	0.0%	100.0%
その他 ・白黒ではなくカラーで欲しい・わかりづらい、掲示場所がみづらい、気づきづらい・園だよりがある月、ない 月がある							
園の行事の開催日や時間帯 への配慮については	2	4	11	9	0	0	26
	7.7%	15.4%	42.3%	34.6%	0.0%	0.0%	100.0%
その他 ・監査結果の説明会が、3連休の初日にあり非常識							
送り迎えの際、お子さんの 様子に関する情報交換につ いては	8	12	4	1	1	0	26
	30.8%	46.2%	15.4%	3.8%	3.8%	0.0%	100.0%
その他 ・すごくかんたんすぎる・どちらともいえない							
お子さんに関する重要な情 報の連絡体制については	4	11	6	4	1	0	26
	15.4%	42.3%	23.1%	15.4%	3.8%	0.0%	100.0%
その他 ・特に聞いたことはない・情報共有がとてもおそい・口頭での説明も多く・どちらともいえない							

保護者からの相談事への対 応には	5	11	4	5	1	0	26
	19.2%	42.3%	15.4%	19.2%	3.8%	0.0%	100.0%
その他 ・まだないからわからない・連絡帳に質問をしても、返答がない時がある							
開所時間内であれば柔軟に 対応してくれるなど、残業 などで迎えが遅くなる場合 の対応については	9	9	3	0	4	1	26
	34.6%	34.6%	11.5%	0.0%	15.4%	3.8%	100.0%
その他 ・まだその事例なし・わからない、利用なし・土曜は両親共に仕事をしない場合、限られた時間しか預かって くれず、困ることがある・その様な機会がありませんのでわかりかねます・まだそういう状況になっておら ず、わからない							

問7 職員の対応についてうかがいます。

	満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	その他	無回答	計
あなたのお子さんが大切に されているかについては	13	11	0	1	1	0	26
	50.0%	42.3%	0.0%	3.8%	3.8%	0.0%	100.0%
その他 ・職員が少ないので無理がある							
あなたのお子さんが保育園 生活を楽しんでいるかにつ いては	16	9	1	0	0	0	26
	61.5%	34.6%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他 ・							
アレルギーのあるお子さん や障害のあるお子さんへの 配慮については	11	9	0	0	4	2	26
	42.3%	34.6%	0.0%	0.0%	15.4%	7.7%	100.0%
その他 ・アレルギーなどないため該当なし・わからない・不明							
話しやすい雰囲気、態度で あるかどうかについては	8	16	0	1	1	0	26
	30.8%	61.5%	0.0%	3.8%	3.8%	0.0%	100.0%
その他 ・							
意見や要望への対応につい ては	3	3	8	8	4	0	26
	11.5%	11.5%	30.8%	30.8%	15.4%	0.0%	100.0%
その他 ・職員の名前が一致しないので写真と名前の一覧を貼ってくれるよう頼んだが未対応・対応がおそく改善も あまりみられない・職員に言っても、園長まで話がいったきちんと対応されてるのか不安・担任レベルでは満 足、園全体では不満・理事長の考え方が変わることに理事長に不満、現場の先生方には満足・全く対応できて いない・現場の先生に伝えてもムダとわかっているから伝えていない							

問8 保育園を総合的に評価すると、どの程度満足していますか。

	満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	無回答	—	計
総合満足度は	3	12	10	1	0		26
	11.5%	46.2%	38.5%	3.8%	0.0%		100.0%

保育観察／子ども本人聞き取りシート A

保育所名	丘の上保育園	調査日	2017年12月11日、12日	調査機関	公益社団法人 けいしん神奈川
------	--------	-----	-----------------	------	-------------------

クラス (年齢)	時間帯	保育の様子・子どもの様子	
0歳児 組			
1歳児 こあら 組	12月12日 11:30～	2歳児と同じ部屋ですが仕切りがあり、1歳児は早めに給食を終えて、午睡の時間になります。この時間、保育士は3人で対応されていますが、中には泣いている子も居り、眠いからなのか、オムツが気持ち悪いからなのか、わかりませんが保育士の先生方は熱心に対応されている姿が見受けられました。	
2歳児 きりん 組	12月11日 11:30～ 15:45～	給食の時間です。今日の献立は、ごはん、梅干し、味噌汁、蒸し鶏のごまだれ、みかんです。除去食の乳児は別のテーブルで専任の保育士が寄り添っています。スプーンを鉛筆の握り方で美味しそうに食べている子どもがいれば順手で握っている子どももいます。隣の子どもが「キャベツ食べて下さい」と笑顔で話しかけてくれます。別の子どもが「今日のおかずは牛肉だよ」と言ってくれます。すると先生が「今日はチキンだよ」と優しく教えています。複数の子どもから梅干しを指差し「これ酸っぱい」と教えてくれます。「梅干し好きですか」と質問すると、少し間をおいて首をかしげながら「好き」と答えてくれます。離れたところでテーブルをはさんで仲良くじゃんけん遊びをしています。このクラスは、保育士2名で担当されていますが、子供たちは仲良く給食を楽しんでいる様子が伺えます。	
クラス (年齢)	保育の様子・子どもの様子		子ども本人からの聞き取り
3歳児 ちいぞう 組	12月12日 16:00～ 16:30	ちいぞう組と思われる数人の子どもがゴム製のフラフープをつないで電車ごっこをしています。保護者がお迎えに来るとおともだちが駆け寄ってあいさつをしています。保育士は3名で担当されており、女の子も元気にポールをよじ登ったりしています(ポールをよじ登る時は、都度、裸足になって登っており、普段の行動の中でも、五感を感じる生活行動になっている様です。	12月なので寒くはないの？と聞くと、首を横に振って元気に走っていきました。
4歳児 ちゅうぞう 組	12月12日 15:45～ 16:30	園庭では保護者のお迎えまで3歳児から5歳児までが寒い中元気に自由遊びを楽しんでいます。おおぞう組のこどもがヘルメットをかぶりストライダーを上手に漕いでいます。白線のトラックを猛スピードで回っている子どももいます。別の場所では女の子が先生とアルプス一万尺を歌いながら楽しそうに手遊びをしています。	ストライダーは得意そうに乗っている子どもを見ていると、自慢そうに意識してスピードを上げていきました。
5歳児 おおぞう 組	12月11日 13時～13時20分	「おとうばんひょう」があり、3歳、4歳、5歳児が5人でグループ分けして、テーブル拭き、お昼寝掃除、食事準備(テーブル拭き)、食べ物洗い(食育)をそれぞれが担当しています。食べ物洗いグループではジャガイモを水で洗っています。みんな苦にすることなく楽しそうに洗いながら、きれいになった、と達成感を喜んでいました。食事の支度班は、テーブルクロス掛けと布巾掛けを担当し、お昼寝準備班は床の雑巾がけ(水拭き)と布団敷きをみんなで担当しています。	ジャガイモを洗う水は冷たくないの、と声かけすると冷たくない、との返事。みんな大変元気でした。水洗いの時に、お母さんと同じことをしていると、嬉しそうに話していました。
備考	当園は開園2年目であり、1歳児(こあら)、2歳児(きりん)で1クラス、3歳児(ちいぞう)、4歳児(ちゅうぞう)、5歳児(おおぞう)で1クラスの構成となっており、厳密な年齢別記述になっていない箇所もあります。		

事業者コメント

平成 28 年 4 月に開園して 2 年目を迎える今年度、今回のような第三者評価を通じて、様々な角度から当園の状況を客観的に知ることができ、非常に良かったと考えています。園の目指している姿として、保育士と子どもとの関わりなど評価をいただいた点については、非常に励みになります。今回ご指導をいただく中で、さまざまな面でまだまだ課題があることを気づかせていただきました。改善点として挙げられていることについても、なかなか実現には至っていないものを含め、真摯に受け止めて参りたいと思います。行事や教育的なものに関しては子どもに負担にならないように行い、来年度もまた保護者と連携を増やすことで（懇談会や親睦会）、保育内容を理解していただき、保護者が安心して預けていただける保育園を目指して行きたいと思います。

丘の上保育園
施設長 加藤富美子